

## 公共事業新規事業評価調書

課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 原口 和夫 (北村 昭二)	内線	4 3 6 2 ( 4 3 7 8 )
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約 100 億円
		(主)豊岡竹野線 道路改築事業	城崎郡城崎町楽々浦 ～湯島(城崎大橋) 1.3km		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
城崎郡城崎町楽々浦～湯島	H 1 3 年度	H 2 1 年度

事業目的	事業内容
現橋が老朽橋(S31架設、現況幅員4.5m)であることから、安全性向上のため架け換えを実施し、異常出水時に通行不能となる(主)豊岡港線の代替路線として、(一)戸島玄武洞豊岡線と一体となって城崎町の孤立化の解消を図る。また、城崎温泉の玄関口整備によるイメージアップにより地域活性化を図る。	橋梁整備 L = 1.3 km (内橋梁部 L=530m) W = 6.5 (12.0) m ; 2車線+歩道

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽橋の整備・・・現橋が緊急度分類A(損傷部分が顕著であり、緊急なもの)</li> <li>・事前通行規制区間の解消・・・橋梁部重量制限10t</li> <li>・異常出水時における城崎町孤立化の解消((主)豊岡港線通行不能過去最高3日/年)</li> <li>・河川阻害橋梁の解消</li> </ul>
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地(城崎温泉)への安全なアクセス道路整備・・・(一)戸島玄武洞豊岡線と一体となって、異常出水時にも安全な道路が整備されることにより、観光客減少の歯止めも期待できる。(H8:994千人、H10:959千人)</li> </ul>
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の整備・・・歩道整備により歩行者と自動車が混在する危険な箇所が解消できる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業関連・・・(一)戸島玄武洞豊岡線の整備と一体的に整備</li> <li>・地域ニーズ・・・地元、町からの強い整備要望あり</li> </ul>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益比 B/C = 2.4</li> </ul>
有効性 代替性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)豊岡港線沿線の土地利用の状況から現橋位置での架け換えは困難であり、現橋から約1.2km下流での橋梁架け換えが最適である。</li> </ul>
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な用地取得に向け、城崎町は対策室を設けており、協力体制が整っている。</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葦原に生息する貴重な動植物への影響をできる限り少なくするよう検討するとともに、情緒豊かな城崎温泉街の景観や円山川の自然に配慮した橋梁デザインを検討する。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の支障となっている老朽橋を整備するとともに、(一)戸島玄武洞豊岡線の整備と一体となって異常出水時における城崎町孤立化の解消が可能となり、城崎町の安全・安心の向上に資する。また、城崎温泉への玄関口となり、イメージアップにもつながるなど、整備効果が大きい。</li> </ul>

評価の結果	左の理由